

秋田労働局は、今春卒業者の3月末時点の就職内定状況を発表した。県内新規高校卒業者の全内定者1586人のうち、県内企業の内定者は1225人。全内定者に占める割合は昨年同期から2・6%増の77・2%で、1988年度の統計開始以来、2021年度の80・2%に続き2番目に高かった。新規大学等卒業者の県内内定率は過去最高の99・6%だった。新規高校卒業者の就職希望者は1596人で、内定率は昨年同期と同じ99・4%。このうち県内希望者の割合は77・4%

## 県内就職内定77.2%

(1235人)で、内定率

率は昨年同期比0・2%減の99・2%だった。県内企業内定者が増加した一因として「県内企業に最近就職した先輩から仕事の話を聞いて地元就職を決めよう」と話し人数は前年同期比26人減の4996人。求人倍率は4・05倍だった。

### 過去2番目の高さ

3月末  
新規高卒

新規大学等卒業者の内定率は昨年同期と同じ98・8%。県内希望者の内定率は1・3%増の99・6%、県外希望者の内定率は0・9%減の98・3%だった。未内定者は26人。労働局は高校卒業者の就職内定率が過去最高となったことについては「人手不足で人員を確保したい考えから、応募があればすぐに採用する」とした。

(板橋美羽)